

2013年1月24日

**「ラクトバチルス カゼイ シロタ株（乳酸菌 シロタ株）」が
米国・食品医薬品局（FDA）よりGRAS認証を取得
～米国市場における「ヤクルト」の更なる普及に期待～**

株式会社ヤクルト本社（社長 根岸 孝成）では、このほど当社の「ラクトバチルス カゼイ シロタ株（乳酸菌 シロタ株）」が、米国の食品安全性に関する審査制度（GRAS）において、その安全性が認められ、米国FDAより「GRAS物質（Generally Recognized as Safe Substances：米国において一般に安全と認められる食品）」としての認証を取得しました（GRAS Notice No. 429）。

「ラクトバチルス カゼイ シロタ株（乳酸菌 シロタ株）」は、昨年3月に毒性学・栄養学・分子生物学の著名な学識経験者によって厳密に審査され、GRAS自己認証を取得しました。その後FDAに届け出を行い、この度、FDAからもGRAS認証を取得しました。FDAが承認したGRAS物質は限られており、米国において「ラクトバチルス カゼイ シロタ株（乳酸菌 シロタ株）」は食品として最上位の安全性が証明されたこととなります。

GRASとは、米国FDAが設定する食品安全性に関する独自の審査制度です。GRAS物質は厳格な審査により安全性が保証されている食品、または食品化学物質として、米国のみならず国際的に広く認められており、食品またはその原料を販売する場合には、GRAS物質であることが望ましいとされています。

1997年より自己認証（Self Determined GRAS Declaration）に基づくFDAへの届出制（Notification）が導入されています。有識者による書類審査を経て自己認証を取得し、その書類をFDAに提出し承認を受けるとGRAS物質リストに掲載され、FDAのウェブサイト等を通じて広く認知されます。

米国においては、アメリカヤクルト(株)が1999年から乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」を販売しており、販売実績は好調に推移しています。また、2013年には米国初の工場が稼働する予定です。

当社では、この度のGRAS認証の取得により、「ラクトバチルス カゼイ シロタ株（乳酸菌 シロタ株）」の安全性への認知度を向上させ、米国はもちろん、世界各国での「ヤクルト」等の更なる普及に努めていきます。

以上